

いずのくに読書ウィーク・読書講演会



～聞かせ屋。けいたろうさんの「読み聞かせ」と「絵本講座」～

とき／10月23日（日）

ところ／中央図書館 2階視聴覚室

参加料は無料です！

☎ 中央図書館 ☎ 0558-76-5566

親子で楽しもう！「読み聞かせ」 申込不要

- 13:30～14:00（0歳から3歳向け）
- 14:10～14:40（4歳から小学校低学年向け）

「絵本講座」 事前申込制・先着順

絵本・読み聞かせについて楽しく学びましょう

- 15:00～16:00（50人限定）
- 9月6日（火）から中央図書館窓口または電話で申し込み

葦山図書館

休館のお知らせ

9月26日（月）～9月30日（金）

葦山図書館は、特別整理期間のため休館します。期間中はご不便をおかけしますが、ご了承ください。中央図書館は、通常どおり開館します。

図書館だより

今月のおすすめ ～立体造形美・仏像～

芸術の秋、願成就院の国宝、運慶作諸仏に会いに行くのであれば、仏師や仏像に関する本で、理解を深めましょう。



『荒仏師運慶』梓澤要（著）

少年の頃「醜い顔」とあざけられたがゆえに美に敏感となった運慶。新しい仏の姿の追求と祈りのはざままで格闘した天才仏師の野心、快慶との確執、絶頂期の病…。その生涯を描く歴史小説。【中央】



『仏像ぐるりの人びと』麻宮ゆり子（著）

京都の大学へ入学した雪嶋直久は、仏像修復師・門真のもとでアルバイトを始める。地味ながら奥深い作業に次第に引き込まれ、謎の仏像の正体を探る。【中央】

■たのしい読み聞かせ

秋の読書講演会は、親子向けおはなし会と絵本講座の二本立て。講師は、元保育士で聞かせ屋、絵本作家としても活躍する「聞かせ屋。けいたろう」さんです。一味違う男性の声の読み聞かせをお楽しみください。

図書館カレンダー
モバイル版QRコード

■『ほとけを造った人びと 止利仏師から運慶・快慶まで』根立研介（著）【中央】

■『運慶仏像彫刻の革命』西村公朝、熊田由美子（著）【葦山】

■『運慶と鎌倉仏 霊験仏をめぐる旅』瀬谷貴之（著）【中央】

■『仏像の見方 正しく理解する仏像のカたち』澤村忠保（著）【中央】

■『仏像がわかる絵事典』瓜生中（監修）【葦山】※児童書

9月の
休館日

中央図書館 5日（月）、12日（月）、19日（月・祝）、22日（木・祝）、26日（月）、30日（金）

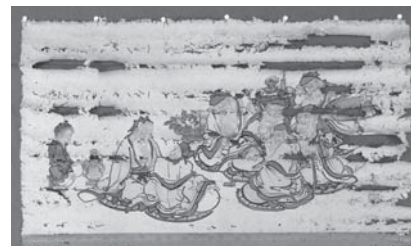
葦山図書館 7日（水）、14日（水）、19日（月・祝）、21日（水）、22日（木・祝）、26日（月）～30日（金）

図書館ホームページ <http://www.izunokuni.library-town.com/> ☎ 中央図書館 ☎ 0558-76-5566

文化財通信

その135

江戸文庫所蔵資料の保存修理(その2)



修理前の尚齒会図

うした関係から、江川文庫には、文晁の作品が複数点伝来しています。その中のひとつに、「尚齒会図」があります。尚齒会とは、元々中国の風習で、長生きをした老人を祝う宴のこと。文晁は、縦54cm、横99cmの横長の画面に、白ひげ

☎ 市役所文化財課 ☎ 055-948-1428

公は、益財団法人江川文庫で所蔵する重要文化財「葦山代官江川家関係資料」の保存修理事業を進めています。8月号掲載の（その1）では、分厚い冊子形態の資料の修理についてお伝えしました。今回は、軸装された絵画の修理例を紹介いたします。



修理作業の様子

を蓄えた7人の老翁と、脇に控える1人の童子を描いています。おめでたい画題として、選ばれたものでしょう。さて、この尚齒会図、修理前

は非常に傷んだ状態でした。元来は掛軸だったものの、装丁のほとんどの部分が失われ、ほぼ、絹本着色の本紙（絵の本体部分）しか残っていません。その本紙も、強い折れ筋とそれに沿った激しい虫損で大きな穴が開き、触れるだけで破れる恐れがあるほどだったのです。

修理を担当した工房では、写真撮影と観察によつて詳細に破損状態を把握し、最適な修理方針を検討した上で、作業に臨みま

した。損傷がひどいため、いったん表側に薄い紙を貼り（表打）、形態を安定させてから、傷んだ裏打紙を剥がす、という技法がとられました。虫の糞やしみなどの汚れを除去した後、本紙の繊維に合わせた材料で、



修理後の尚齒会図

欠損した部分を埋めていきます。傷みがひどいほど、困難かつ手間のかかる作業となります。次に表打紙を剥がし、肌裏の中裏の順で裏打紙を重ねます。さらに、裂（注1）や風帯（注2）、軸などの表装を、部分的に残っていた元の表具を参考に全て新調し、掛軸の形に仕上げていきます。こうして、開くことすらままならなかった谷文晁の作品は、展示し、観賞できる掛軸としての姿を取り戻したのです。

（注1）掛軸などの表具に用いられる布地

（注2）掛軸の上部（天）の部分についている2本の帯状の布